



図書館の中に街をつくろう!

6月の休館日

石狩市民図書館

2(月)・9(月)・16(月)・
23(月)・27(金)・30(月)

本館(花川北7・1) ☎72・2000 FAX 73・9120 ✉tosyokann@city.ishikari.hokkaido.jp



2025中古本リサイクル市リターンズ サマーブックマーチ

読まなくなった本を 提供してください!



コロナ禍で中止していた「中古本リサイクル市」が4年ぶりに復活! 開催に向けて本を集めています。収益は市民図書館の新たな蔵書として利用者の皆さまに還元されるほか、アジアの教育支援にも役立てられます。

状態が良好な次のような本を募集します。

募集する本

- 文庫本 ●ハードカバー ●辞書・専門書 ●コミック ●児童書・絵本
- ※書き込み・破れ・ゆがみ・しみ・水濡れがあるものや、定価表示やバーコードのないもの、雑誌・パンフレットは除きます

- 募集場所** ①市民活動情報センター「ぽぽらーと」(花川北3・2) ④八幡分館(八幡2・332)
②市民図書館本館 ⑤浜益分館(浜益区浜益630・1)
③花川南分館(花川南6・5) ⑥あいかぜとしょかん(厚田区厚田171・1)

募集期間 3(火)～7/31(木) ※休館日除く

問合せ ① 市民活動情報センター「ぽぽらーと」☎77・7070 ②～⑥ 市民図書館☎72・2000



INFORMATION

職員のおすすめ本 コーナー

3(火)に図書館は開館から25周年を迎えます。日頃の感謝を込め、図書館職員のおすすめ本コーナーを企画します。どうぞお手にとってご覧ください。



INFORMATION

7月～9月の利用を募集します 市民展示室

- 内** 写真・絵画・手芸・ハンドメイド作品の展示など
- 対** 市民個人(市内に通勤・通学する方含む)
- 申** 申請書(本館貸出カウンターまたは図書館HPより入手可)をメール・ファクス・本館カウンターへ提出 ※申込順



石狩句歌歳時記

俳句
白雨や老ひのデートは慌てずに
短歌
五月雨に濡れて静かにひそやかに
つるの思いのつばみふくらむ

釣本峰雄 下岡憲充

本の特集コーナー

本館

1(日)～14(土) 歯と口の健康習慣
15(日)～29(日) 共に生きる楽しみを
～ペット特集～

分館

3(火)～25(水)

花川南：撮る書く描く
八幡：季節がわりの
おたくしませんか
浜益：キャンプを楽しもう!



市民図書館 HP



Instagram

本館おはなし会

- ①7(土)・21(土)…びっくりばこ
- ②14(土)……よみきかせ 子っ子の会
- ③22(日)……図書館司書
- ④28(土)……おとなも絵本を楽しみ隊
「おおきな木」

時 ①②③11時～11時30分
④13時30分～14時30分

名作を楽しむ会(DVD上映会)

内 「日本列島生きもの超伝説
劇場版ダーウィンが来た!」

日 12(木)13時～14時30分



石狩 しごとと図鑑

たか はし たま み
高橋珠美さん

◆プロフィール◆

平成14年、樽川に(福)はるにれの里が「障がいのある方にもいきいきと働ける場を」と立ち上げた「ベーカリーショップこむぎっこ」に、創業時から今まで23年間勤務。仲間からの愛称は「たまちゃん」。主にバターロールやプチクロワッサンの製造に携わります。



こむぎっこで私の一番好きなパン？
いっぱいあって
選ぶのが難しいです！



笑顔って…緊張します

朝、ユニホームに着替えた高橋さんが最初に行うのは、小麦粉をふるったり、調理パンで使うソーセージや焼きそばを取り分けたりすること。そうしている間に生地ができれば、いよいよ高橋さんが本領を発揮する時です。パンの種類に応じて30g、40g、60gと手際よく重さを量っては、成形担当のスタッフへと渡していきます。普段はどちらかといえばおっとりとした性格の高橋さん。しかし、正確さとスピードが求められるこの作業では、スイッチが入ってテキパキとこなします。周囲からの信頼も厚く、さすがは「こむぎっこ」創業以来のメンバーであり、勤続23年目のベテランです。

「ベーカリーショップこむぎっこ」が提供するパンは常時80種類にも及びます。「そこへ保育園やレストランから注文が入ったら大忙しなんです」と笑顔を見せる高橋さん。そんな日は300個ほど焼き上げるそうで、「やるしかない！」と気合を入れて、仲間と共に生地を丸める作業などを懸命に行います。

お楽しみは月に一度の外販業務。りんくるや市民館に行つて販売する楽しさや、お客さんに直接会えるうれしさがあるのだとか。

所長の真野禎之さんは「こむぎっこは、高橋さんのように障がいを抱える利用者さんたちが、いきいきと活躍してくれることで初めて成り立つ事業です。これからも変わらず、高橋さんらしいパン作りを続けていただけたら」と願っていました。